

シリーズ

地域おこし協力隊通信

新しく変化する地域おこし協力隊

●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111 (内線3310)

17



佐藤 豊 隊員

4月から小場に住み始め、長津地区に地域おこし協力隊として着任した佐藤豊です。

長津地区は、「かぐや姫プロジェクト」と称して、竹林整備を軸に地域活性化を支援する隊員を募集していたのですが、蓋を開ければ、中年のおじさんで困惑したのではないかと思います。しかし、私は外資の金融機関での実績、証券アナリスト、ビジネスコンサルタントの経験を生かし、地域の役に立てるようにと意気込んで着任しました。結果的に経験値の高いおじさんの「竹取の翁プロジェクト」で良かった、と思ってもらえればと考えていました。

ところが、いざ活動をスタートしてみると、実際は地域の皆さんに教わることばかりな

働き者に囲まれて感謝の気持ちでいっぱい



▲タケノコ採り

なんです。なんとと言ってもこの地域の皆さんは働き者が多いのです。朝は暗いうちから田んぼに出て、その後会社に出勤し、帰宅後はまた田んぼ、それから地域の集まりがあればそれにも参加。こんなに一生懸命、しかも自分の事だけではなく、周りのためにも頑張っているそんな人たちに囲まれて生活できることに、ただ感謝の気持ちでいっぱいです。

今は教わることの方が圧倒的に多い毎日で、頼もしい兄貴が急に何人もできて、こんな楽しい日々が続けばいいなと思っています。徐々に私の方から何かしらお返しができればと考えています。

人権啓発シリーズ 15

～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～

人権つうしん

～今もなお捕らわれたまま、救出を待っています～

北朝鮮による拉致被害者について

1970年代～1980年代にかけての、北朝鮮による拉致被害者のうち5人の帰国は実現しましたが、他の被害者は安否確認すらなされておらず、いまだに北朝鮮から納得のいく説明はありません。

拉致問題は重大な人権の侵害であり、北朝鮮に対して、政府が強い意思を持って拉致問題の解決に向けた働きかけを行っていく上で、私たち一人一人がこの問題に関心を持ち続けることが、何よりも大きな後押しとなります。

市では今後、市民の皆さんに拉致問題の理解を深めてもらうために、9～12月にかけて人権パネル展を開催する予定です。詳細は、その都度お知らせいたします。

●問い合わせ 市民課生活人権室 ☎53-2111 (内線2231)

